

令和7年度庁議報告事項
第16回庁議（2025年11月18日）

健康福祉部 保健予防課

【件名】

予防接種に関する今後の取組について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

1 男子HPV任意予防接種について

(1)概要

令和7年8月に9価ワクチンの男子に対する接種について薬事承認されたことにより、助成対象ワクチンに、新たに9価ワクチンを追加する。

(2)対象者

小学6年生から高校1年生までの男子

(3)対象ワクチン

- ①4価ワクチン … 繼続
- ②9価ワクチン … 追加

(4)接種費用

無料

(5)助成対象とする接種時期

令和8年4月1日以降に接種したもの

(6)接種方法

- ①中野区内で接種する場合、医療機関に配布している予診票により接種する。（窓口での支払いなし）
- ②中野区外で接種する場合、接種後に接種費用を窓口で全額支払い。その後、接種者の申請により償還払いする。

(7)広報

区報、ホームページ、区内実施医療機関におけるポスター掲示

2 帯状疱疹任意予防接種について

(1)概要

帯状疱疹予防接種は、令和7年4月1日から予防接種法のB類疾病として定期予防接

種化され、対象者は一部の自己負担により接種が可能となった。

区は、令和5年3月より50歳以上の区民の帯状疱疹ワクチンの任意接種に対し、費用助成を行っており、定期接種の対象外となる50歳以上の区民についても、費用助成の対象者を見直し、1年間に限り延長する予定である。

(2)事業内容

- ①対象者：50～64歳の中野区民 … 見直し
- ②助成額：乾燥弱毒生水痘ワクチン（ビケン）/1回接種 … 繼続
乾燥組換え帯状疱疹ワクチン（シングリックス）/2回接種 … 繼続

(3)見直しの理由

帯状疱疹予防接種は、令和7年4月1日から定期予防接種化され、対象者は一部の自己負担により接種が可能となった。

また、帯状疱疹のり患のピークは70代である。ワクチンの効果（シングリックス：約10年）から逆算すると、り患のピークに差し掛かる手前（65歳）で定期予防接種を実施することで一定の抗体を保有した状態で70代を迎えることができ、疾病に対する予防対策はカバーされる。

一方で、定期予防接種の対象外となる50歳から64歳について、一定のニーズがあることから、1年間の周知期間を経て、帯状疱疹任意予防接種事業を終了する予定である。

(4)広報

区報、ホームページ、区内実施医療機関におけるポスター掲示